

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	20064
事業名	広報一般事務費					
評価担当課	所属	総)広報部 広報課			電話番号	011-211-2036
施策名	-					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業 内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌市が行う様々な取組や災害情報等の必要な情報を、伝えたい情報の特性に応じた媒体によって適切に市民へ広報する必要がある。
	事業内容(何を実施し)	各種媒体を利用した広報として次のことを実施した。 ①インターネットを利用した広報の調整、札幌市ホームページの管理 →ホームページにより市政情報の発信を積極的に実施(トップページアクセス数: 10, 028, 682件) ②主に本市転入者向けに市の施設・制度等を紹介する冊子である「市民便利帳」の発行 →市民便利帳80, 000部を発行し、転入者へ配布するとともに各所へ配架 ③職員が地域に出向き、市政情報の提供と市民との直接対話を行う「出前講座」の総括 →市民の関心の高いテーマを選定し、11分野200のテーマで792回実施、44, 133人受講 ④ふれあいパンフレットコーナーにおける各種パンフレットの配布、サッポロスマイル市政PRコーナーや 内地下鉄駅掲示板における市政情報の発信 →パンフレットコーナーでは1, 133件を配架 ⑤フォーリンプレスセンターを活用した海外向け情報発信 →令和6年度は資料提供なし(0件)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	市政情報を効果的に広報し、市民との情報共有を進めることで、市民と行政の信頼関係を築き、市民が主体となったまちづくりを進めていく。
	他都市の状況	インターネット及び出前講座と同様の事業は、すべての政令指定都市で実施している。ふれあいパンフレットコーナー、市政展示コーナー、地下鉄駅掲示板については、各自自治体において機能・形態は異なるが、庁舎外に行政(観光)の情報提供コーナーを有している。
	市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外

令和5年度決算額	49,373 千円	うち特定財源	2,941 千円	正規職員業務量	7 人工
令和6年度予算額	42,360 千円	うち特定財源	3,502 千円	正規職員業務量	7 人工
令和6年度決算額	44,081 千円	うち特定財源	4,892 千円	正規職員業務量	7 人工
令和7年度予算額	47,883 千円	うち特定財源	4,149 千円	正規職員業務量	7 人工

指標	アウトプット活動指標1	市公式ホームページトップページのアクセス数		という活動、業務を行うことで			
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		14,215,782	15,000,000	10,028,682	16,000,000	17,000,000	18,000,000
		↓					
	アウトカム成果指標1	ユーザビリティに関するアンケート結果(総合)			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		3.54	3.6	3.57	3.7	4	4
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	現行HPIにおいては、注目を集めるトピック(コロナや給付金関係など、コロナ禍をピークに減少)の有無にアクセス数が左右される傾向にあるほか、ページ構成のわかりにくさ、スマホでの閲覧のしにくさによりアクセス数が伸び悩んでいると考える。R8のリニューアル公開では、課題解決に向け品質向上に取り組む。					
	アウトプット活動指標2	ふれあいパンフレットコーナー配架数(件)		という活動、業務を行うことで			
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
	1,056	3,400	1,133	1,200	1,200	1,200	
	↓						
アウトカム成果指標2	配架枚数に対して市民が持ち帰った割合			という状態にしたい、成果を挙げたい			
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
	-	-	91.00%	70.00%	80.00%	90.00%	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方	R6年度は年度途中(7月下旬)からの集計開始であることやパンフレットコーナーの移転リニューアルによる影響度合いが見えないことから目標値は段階的に設定する。						
今年度の見直し内容	パンフレットコーナーについて、市政PRコーナーの改修移転に合わせて併設し、一体的な展開を行うことで、より市民が目にしやすいコーナーとなるよう媒体(コーナー)価値の向上を図る。						
来年度以降の方向性	引き続き各種広報媒体を活用し、適時適切な広報に努める。ホームページは、各担当課の職員が市民にとってわかりやすいページを作成できるよう、研修等でその方法を周知する。これにより、ホームページの質を高めて再訪問者を増やし、アクセス数の向上を目指す。						